
空の破片 / I 私 愛 / この世で一番不思議なもの

0

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

空の破片 / I 私 愛 / この世で一番不思議なもの

【Nコード】

N60360

【作者名】

0

【あらすじ】

私の一生の短い期間が、その前後に続く永遠の中に吞み込まれており、私の占める小さな空間、わたしの目に映るこの小さな空間が、わたしの知らない、またわたしを知らない空間の無限の広がりの中に沈められているさまを、つくづく眺めてみると、他の場所ではなく、この場所にいる自分に恐れと驚きを感じる。なぜあそこではなく、ここにいるのか、なぜ他の時ではなく、いまこの時にいるのかその理由はまったくないからである。誰がわたしをここに置いたのか。誰の命令、誰の指図によって、この場所とこの時がわ

たしにふり当てられたのか。
パスカル<パンセ>より

< 空の破片 >

夜が散る。

さらさら、さらさら、と音を立てる、

銀色のそれは、

今日も街に降り注ぐ。

なにも知らない人間は、

世界で一番高い場所から、

あるいは、テレビのこっち側から、

どんちゃん騒ぎで眺めてる。

月もついには、むこうをむいた、

あとに残るは白い夜。

< I 私 愛 >

アイ。

ソレハ、ワタシノスベテ

。

アイ。

ソレハ、アナタノスベテ。

アイ。

ソレハ、ダレカノスベテ。

アイ

ソレハ、セカイノスベテダ。

<この世で一番不思議なもの>

幸と辛を分ける、一本の線。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6036o/>

空の破片 / I 私 愛 / この世で一番不思議なもの

2010年11月2日01時34分発行